

学習指導案

日 時	令和 6 年11月20日（水）第 5 限目	クラス	〇〇科3年	指導者	〇〇 〇〇
教科（科目）	デザイン材料	単元名	第 3 節 その他の有機材料		
教科書	工業 383 高等学校用 デザイン材料 （東京電機大学出版局）	使用教材	MetaMoji		
本時の位置	第 3 皮革 3 加工とデザイン（5 / 5 回）				
本 時 の 目 標	皮革の特性を理解し、特性を活かしたデザイン提示ができる。				
学習活動 に即した 単元の評価 規 準	知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c		
	皮革材料について理解し、動物性と科学性の種類と性質を理解している。	皮革材料の特性を利用した製品のデザイン案を作成するとともに、課題を検証し改善している。	皮革製品に興味を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働的に取り組もうとしている。		
時 間 【過程】	行程（ねらい）	学習活動 （・教師の活動、指示 ○生徒の活動）		評価規準	評価方法
導入 【5 分】	・ 目標の提示 ・ 本字の説明	○メタ文字の立ち上げ ○メタ文字で目標確認 「皮革の特性を理解し、特性を活かしたデザイン提示ができる。」 メタ文字で発表 ・発問 皮革製品を使った商品にはどのような物があるか？ ・発問 2 ではなぜその商品は皮革を用いたのか？特性面に着目して回答してください。			
展開 【40 分】	・ 皮革製品の種類と特性の書き出し	MetaMoji（クラス）を用いて種類と特性をふせんで貼る。（8 分） （グループ） ・ グループワークをホワイトボードに移し、特性を確認 ・ 特性を元に、皮革製品のデザイン案を書かせる。 今回は実用性、実現性に着目はせず、特性を生かす利用ができる商品を考えているかに着眼する。 （25 分） ○デザイン案をプリントへ記入 ○デザイン図案をタブレットで撮影し、MetaMoji へ載せる。 ○デザインのコンセプト、特性の生かし方などを記入する。 ・ 全体のデザイン案を共有。優秀作品紹介 ・ 代表的な生かし方をクラスで共有し、新商品を生み出す案だしの原理を伝えるとともに、「特性」のとらえ方で作られる商品の形状や用途が決まることを伝える。		図案の中に特性が含まれているか、設計した物に対して需要があるかどうか。 【思】	MetaMoji 資料提出 ルーブリック
まとめ 【5 分】	・ 自己評価、考察 ・ 振り返り	○Forms で自己評価とデザイナーにとって必要な倫理観と皮革の利用方法について記入する		今後デザイナーとして材料を選択する判断基準を考察できているか。【主】	Forms ルーブリック